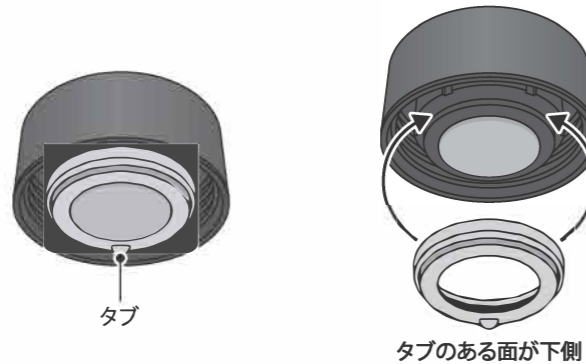


天

K

【原寸版下〈表〉】

パッキンの取り付けについて



パッキンを取り付ける際は向きにご注意ください。
向きを間違えると液漏れするおそれがあります。

パッキンの交換について

パッキンは消耗品です。1年を目安に状態をご確認いただき、表面に傷や欠損のある場合は、交換をしてください。

交換用パッキンについては、伊藤園 MIRAI STATION サイト内よくある質問の「パッキンの交換について」にて詳細をご確認ください。

<https://shop.itoen.jp/mirai-station/faq/>



品質表示

品名	チタン製携帯用まほうびん
実容量	0.45ℓ
保温効力	58℃以上(6時間)
保冷効力	10℃以下(6時間)
材料の種類	内びん：チタン 外びん：チタン フタ：ポリプロピレン・チタン 茶こし：チタン パッキン：シリコンゴム

※保温効力とは、室温20℃±2℃において製品に熱湯を満たし、フタをして縦置きにした状態で湯温が95℃±1℃の時から6時間放置した場合におけるその湯の温度です。

※保冷効力とは、室温20℃±2℃において製品に冷水を満たし、フタをして縦置きにした状態で水温が4℃±1℃の時から6時間放置した場合におけるその水の温度です。

こんな時は…

症状	点検するところ	処置
飲みものが漏れる	フタが確実に閉まっていない・ゆるんでいる	フタは本体を立てた状態にして、傾けたり揺らしたりせず、確実に閉めてください。
	飲みものをを入れすぎている	飲みものは規定の量までしてください。
	パッキンがはずれている・確実に取り付けられていない	パッキンは正しい位置に確実に取り付けてください。
本体内側が変色した	汚れが付着している	酸素系漂白剤を「お手入れ方法」に従って使用してください。
	斑点状の赤いサビが付着している	水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を「お手入れ方法」に従って使用してください。
	ザラザラしたものが付着している	水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を「お手入れ方法」に従って使用してください。
保温(保冷)が効かない	十分に熱い(冷たい)飲みものを入れていない	熱い(冷たい)飲みものを入れてください。またあらかじめ本体内側を予熱(予冷)しておくとお効果的です。
	飲みものの量が少ない	飲みものの量を増やしてください。
異臭がする	本体内側に汚れが付着している	きれいに洗い、十分に乾燥させてください。異臭が取れない場合は「お手入れ方法」に従って、酸素系漂白剤を使用してください。
パッキンが変色した	汚れ・カビが付着している	酸素系漂白剤を使用してください。汚れ・カビが落ちない場合は使用を中止してください。
緑茶などが赤茶色に変色した		お茶を保温すると、お茶の成分が変化して色や風味が変わることがありますが、人体に害はありません。お早めにお飲みください。
製品を振るとシャラシャラという音がする		保温(保冷)効果を高めるために真空二重構造の内部(真空層)に入れている金属箔がこすれて音がすることがあります。異常ではありません。

品質には万全を期しておりますがお気付きの点がございましたら、下記までご連絡ください。

【伊藤園 ボトル対応窓口】

03-6284-4423

【受付時間】10:00~12:30、13:30~16:00

(土日祝日、年末年始を除く)

MADE IN CHINA

真空断熱 TITANIUM BOTTLE

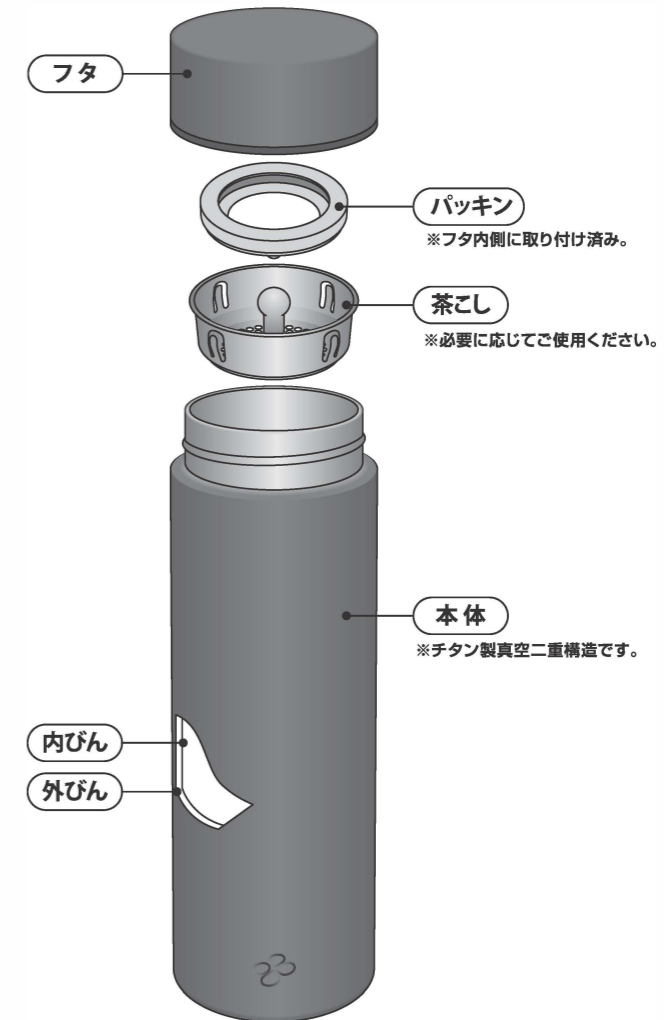


取扱説明書

このたびは伊藤園・真空断熱 TITANIUM BOTTLE をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

家庭用

※はじめにセット内容に不備がないことをご確認ください。



地

【原寸版下〈裏〉】

天

K

⚠ 警告

- 乳幼児の手の届くところには置かないでください。また、いたずらには十分に注意してください。やけどやけがの原因となります。

⚠ 使用上のご注意

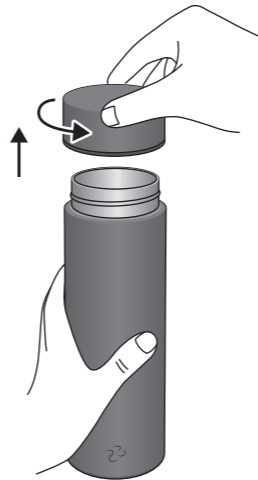
- 飲みものを入れる目的以外に使用しないでください。
- 改造、分解、修理はしないでください。
- 使用前、後には必ず食器用洗剤を使用して洗い、十分に乾燥させてください。
- フタにはパッキンが付いていますが、飲みものを入れて持ち運ぶ際には横置きにせず、必ず縦置きにしてください。他のものを汚したり思わぬ事故の原因となります。
- フタは確実に閉めてご使用ください。
- 大きな氷は無理に押し込まずに小さくしてから入れてください。本体内部の止水部が変形して漏れの原因となります。
- 熱い飲みものを入れた場合、直接飲まないでください。コップに注ぐときは本体を急に傾けないでください。熱い飲みものが急激に出てやけどのおそれがあります。
- 真空二重構造の内部(真空層)から水の音がする場合は使用しないでください。内部に入った水がしみ出した場合、飲んで体調不良を起こすおそれがあります。
- サビの原因となりますので、浸け置き洗いはしないでください。
- ストープやコンロなど火のそばに近づけないでください。変形や変色の原因となります。
- 絶対に煮沸しないでください。変形や故障の原因となります。
- 食器洗浄機、食器乾燥機は使用しないでください。塗装のはがれや、変色・変形の原因となります。
- 電子レンジで加熱をしないでください。火花が飛んでけが・故障の原因となります。
- 落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- キズや故障の原因となりますので、シンナー、ベンジン、金属タワシ、研磨材入りの洗剤やクレンザー等は使わないでください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 内容物を長時間保存しないでください。変質や腐敗のおそれがあります。
- 冷凍庫には入れないでください。
- 運転しながらのご使用は危険ですので絶対にしないでください。
- 自動車の缶ホルダーで使用する場合、一部車種や、市販のホルダーの種類によっては入らないことがあります。
- 飲みものを入れた後、本体を逆さにして漏れないことを確認してください。
- スポーツドリンクを入れた場合は、使用后すぐにお手入れをしてください。
- ドライアイス、炭酸飲料、果肉、牛乳、乳飲料、果汁、みそ汁やスープ等(塩分を多く含んだもの)は絶対に入れないでください。
- パソコン・デジタルカメラ等の精密機器と一緒に持ち運ばないでください。
- においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。
- 直射日光はさけて保管してください。
- 製品には必ず専用の部品を取り付けてください。
- 飲みものは早めにお飲みください。

ご使用方法

初めてお使いの場合は、「お手入れ方法」に従って、よく洗ってからご使用ください。

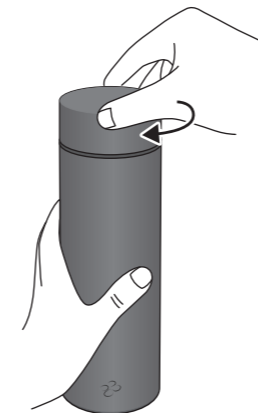
① フタをはずす

本体を押さえながら、フタをまわして、はずしてください。



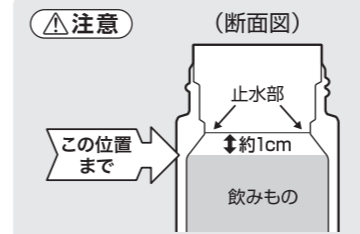
③ フタを閉める

本体を立てた状態で、フタをまわして確実に閉めてください。閉めた後は、フタが確実に閉まっていることを確認してください。



② 飲みものを入れる

飲みものの量は図の位置までにしてください。入れすぎると、フタを開めたときに飲みものがあふれ出る原因となります。

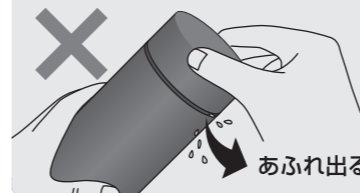


ポイント!

本体に少量の熱湯(冷水)を入れ1分程度予熱(予冷)すると、保温・保冷に効果的です。

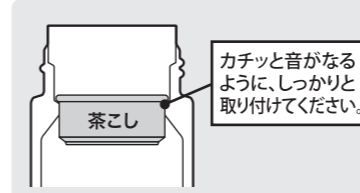
△ 注意

フタを開閉するときは、本体を傾けたり、揺らしたりしないでください。
※飲みものがあふれ出たり、漏れたりして、やけどやものを汚す原因となります。



※ 茶こしのご使用について

茶葉を大量に入れたり、茶葉の種類によっては茶こしが目詰まりします。また、微粉は茶こしを通過します。



自動車専用缶ホルダーを使用する場合は

- あらかじめ強度を確認してからお使いください。強度が十分でないとホルダーがはずれたり破損して車内や衣服を汚す原因となります。
- 市販の缶ホルダーは据え置き型をお使いください。ウィンドウやエアコン吹出口に取り付ける吊り下げ型のホルダーは、はずれる場合がありますので使用しないでください。

お手入れ方法

使用後はいつでも清潔にお使いいただくために必ずお手入れをしてください。

お湯で薄めた食器用中性洗剤を柔らかいスポンジにつけて洗ってください。洗剤を落とすときは水をかけながらすすぎ洗いをしてください。その後、すぐに乾いた布で水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

＜ 注意 ＞

- 絶対に食器洗浄機、食器乾燥機は使用しないでください。
 - 浸け置き洗いはしないでください。(サビの原因となります。)
 - 内側のみ酸素系漂白剤を使用してください(目安30分)。その際、フタは取り付けしないでください。本体の内圧が上がると、フタが飛び出すなど危険です。
※塩素系漂白剤は使用しないでください。
 - 水に含まれる鉄分などにより、サビのような赤い斑点が付着した場合は10%ほどのお酢を加えたぬるま湯を入れてください。約30分後、柔らかいブラシで内面をきれいに洗った後、十分にすすいで乾燥させてください。
 - 水に含まれるカルシウムなどにより、ザラザラしたものが付着した場合は10%ほどのクエン酸を加えたぬるま湯を入れ、フタをはずした状態で放置します。約3時間後、柔らかいブラシで内面をきれいに洗った後、十分にすすいで乾燥させてください。
- (保管について)
長期間ご使用にならない場合は、きれいに洗って汚れを落とし十分に乾燥させてください。その後、高温多湿の場所をさけて保管してください。

地